

8月21日(木) スクール菜園

蔵王高校の中庭の花壇を利用して、自然科学部が野菜を栽培しています。今年も夏野菜のトマト、きゅうり、なす、枝豆がおいしそうに育ちました！収穫後は、いつも職員室に届けてくれます。猛暑の影響でスーパーでは野菜が高騰……。そんな中で、目の前で採れたおいしい夏野菜は最高です！ごちそうさまでした。またお願いしますね。



8月27日(木) バレーボール愛好会

蔵王高校には「バレーボール愛好会」があります。学年や男女を問わず、毎週水曜日の放課後に30数名が集まってバレーボールを楽しみます。若手の教員も複数名参加し、生徒と一緒に真剣になって汗をかきます。「スポーツは自分ではやらないけれど、みんなが楽しんでいる様子を見るのは好き」という女子生徒たちが応援する中、暗くなるまで楽しめます。時にはバスケットボールをやることも。みんなで一緒に楽しめる雰囲気があるのも蔵王高の魅力の一つです。



養護の先生が復職されました！

9月1日(火)から、産休・育休のために本校を離れていた岸部春香先生が復職されました。

「9月から復帰しました。『出会いが宝』をモットーに、毎日を大切に過ごしたいです。よろしくお願いします。」

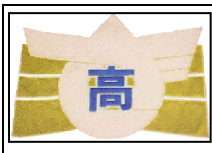
9・10月の予定

9月 1日(火)～3日(木) 職業体験(2年生)
9月 4日(金) SC講話(3年生)
9月11日(金) 進学推薦会議、就職選考会議
あすなろ会選挙

9月18日(金) 防災教室(2年生)
9月24日(木)～29日(火) 前期期末考査
10月 1日(木) 衣替え、第2回進路希望調査
芸術鑑賞会
10月12日(月) 大学短大推薦会議
10月31日(土) あすなろ祭

10月31日(土) あすなろ祭(文化祭) 申請者限定公開！

今年のテーマは、『Break the sky limit ～限界を超えろ～』。新型コロナ対策で、事前申請者限定の公開になります。時間は、9:20～11:50までです。美術部・華道部・茶道部・自然科学部・手芸部・JRC部・コンピュータ部などの展示発表と、体育館では音楽部や有志団体のステージ発表を行います。



蔵王の空に夢かける

宮城県蔵王高等学校
〒989-0851 蔵王町大字曲字濁川赤岩1-7
電話 0224-33-2005 FAX 0224-33-2034
HP アドレス <https://zao-h.myswan.ed.jp/>

今年は例年以上の暑さが続きましたが、学校行事や進路学習など、蔵王高校生は元気いっぱい活動しています。活力に満ちた蔵王高校の日々のニュースをご紹介します。

8月1日 令和2年度 オープンキャンパスを実施しました！

8月1日(土)、本校のオープンキャンパスを行いました。中学3年生だけではなく、中学2年生の参加もあり、会場は熱気に包まれました。

生徒会執行部の生徒たちが先導しての校舎案内の後、参加中学生たちは事前に申し込んでいた「模擬授業」を受けました。「介護実習(福祉)」「究極の二択(地歴公民)」など、各教科が工夫を凝らした授業を楽しんでもらえたようです。その後、校舎内外を自由に行き来して、部活動見学をしてもらいました。



- ・楽しく自由な雰囲気、入学するのが楽しみになりました。
- ・先生方が優しく、参加しやすかったです。
- ・全体説明会で学校についてたくさん知ることができてよかったです。
- ・模擬授業で面白い授業を受けることができて、楽しかったです。
- ・入学後、楽しい授業が受けられそうだと期待が膨らみました。
- ・模擬授業で「福祉」に興味を持ち、もっと知りたいと思いました。資格も取得できるということなので、将来の職業につなげられると思いました。



(参加者のアンケートから)

防災避難訓練を実施 ～蔵王山の噴火に備えて～

8月25日(火)、蔵王山の噴火及び融雪型火山泥流が発生した場合を想定した防災避難訓練を実施しました。授業中に噴火が起これ、融雪型火山泥流が発生するという情報を得た想定で、一次避難所(第2体育館2階)まで安全に避難するというものです。避難開始の指示が出てから、避難所で全員の点呼を確認するまで7分30秒でした。その後、本校の防災主任から、蔵王山が活火山であり、噴火した際には学校脇の松川に泥流が45分後に到達することなどの地元防災に関する話が、豊富な写真や資料、映像とともに語られました。講評では教頭から、「ドラマ『半沢直樹』で歌舞伎役者の顔芸が話題になっているが、あれは日頃歌舞伎で人間の心情表現を『型』として大げさにやっているからこそ、現代ドラマで『崩し』ができる。避難訓練も『型』を鍛錬しておかなければ、実際にことが起きたときの臨機応変という名の『崩し』はできない」とありました。生徒たちは気持ちを引き締めてしっかりと聞き、自然に対する知識と防災や避難の在り方を学びました。



バドミントン部、卓球部 代替大会

<バドミントン部 三年間を終えて> 3年 菊池 哲哉（福岡中学校出身）

三年間の部活動はとても実りがあり、大きく自分を成長させることができたと思っています。

まず何より勝負の世界で勝ち進むことの難しさを知りました。勝つためにどのような練習をして、何が自分に足りないのかを考えて試合に臨む。そうやって日々の努力を積み重ねることで勝ち取った勝利はうれしいものです。しかし、今私はその「過程」が大切なのだと思います。「勝つ」という共通の目的のために仲間と高めあった日常こそ、私の一番大切な思い出です。もちろん、部内での対立は数多くありました。私も部長として悩んだ時期がありましたが、そのような時には仲間や先生が相談に乗ってくれました。そのお陰で問題を乗り越えることができ、チームとして絆が深まり、より強く団結することができたのだと思います。

三年間に起こった様々なことを通して、私たちはとても大きく成長することができました。最高の仲間と最高の先生方と、最高のチームで共に三年間バドミントンができたことを誇りに思います。



「部活動を通して仲間との楽しい思い出がたくさんでき、とても充実した三年間になりました。」

高橋 秀雅（遠刈田中学校出身）

「とても楽しい三年間でした。バドミントンがこんなに楽しいなんて、蔵王高校に入って初めて知りました。」

日下 聖基（宮中学校出身）

「部活動を通して、仲間の大切さを知りました。喧嘩したり笑い合ったり、とても充実した三年間でした。」

高橋 翔汰（円田中学校出身）

「誰一人抜けることなく、みんなでやれてよかったし、楽しかった。」

鈴木 賢心（宮中学校出身）

「蔵王高校のバド部でしか味わえない楽しさと辛さを知ることができました。」

遠藤 優斗（福岡中学校出身）

<卓球部 三年間を終えて> 3年 小野 真（山下中学校出身）

私は三年間卓球部で活動してきました。最初の頃はなかなか部に馴染むことができずに、不安を抱えての活動でした。しかし、先輩方が優しく接してくださったお陰で、徐々に打ち解けることができるようになりました。しかし、仲間と共に苦しむことで、その困難に立ち向かうとする勇気が湧いてきました。1年生の時には、日々の活動で仲間との信頼関係や団結力を高めることにより、県大会出場という目標を達成できたように思われます。2年生に進級すると、私は部長という責任ある立場になりました。部を上手にまとめていけるのかどうかとても心配でしたが、今度は後輩たちが優しくサポートしてくれました。それがとてもうれしく、楽しんで卓球をすることができました。3年生になり、



新型コロナウイルス感染症対策のために本来予定されていた大会はなくなってしまいました。代替大会という、これまでの自分の努力を表現できる場が設けられたのはうれしかったです。壮行式で校長先生が「勝負所が来たら、退くのではなく打ち込みなさい。一步踏み出すことがその後の人生の糧となる」とおっしゃったことを実践できたように思います。

卓球部に入り、仲間との信頼関係や困難に向き合う心構えなど、多くのことを学んで大人になることができたと思います。蔵王高校の卓球部で得たことを、卒業して社会に出てからも忘れずに頑張っていきたいと思います。



2年生 職業体験実習に行ってきました

2学年では9月1日から3日の3日間、職業体験実習に臨みました。興味のある分野の職場を選び、実際に仕事をさせていただきながら、「働く」意味を考えることが目的です。生徒たちは、緊張しながらも任せられた仕事に対して生き生きと取り組んでいました。今後の自分の進路を考える上で貴重な経験となったはずです。実習を快く受け入れをしていただき、ご指導いただいた関係各所のみなさま大変ありがとうございました。



<Special Thanks!>

フレスコキクチ蔵王店様 イオン船岡店様 白石市南保育所様 白石市北保育所様 円田郵便局様
ヤマザワ白石東店様 学校法人 風間学園ひかり幼稚園様 パラマウントスポーツ様
社会福祉法人 桃寿会 特別養護老人ホームざおうの杜様 コメリ蔵王店様

~大変ありがとうございました~